

まちづくり懇談会議事録

日 時：平成 30 年 11 月 1 日（木） 18：26～20：27

場 所：雨煙別公民館

出席者：5 人

1. 開会
2. 町長挨拶
※資料確認
3. 説明事項
(1) 栗山町第 6 次総合計画後期実施計画策定について（資料①・②）
※質疑応答
4. 懇談
(1) 栗山町が直面する主な課題について（資料③）
※自由懇談・質疑応答
5. 閉会

《懇談会内容》

意見：雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスについて、1 点目は町から雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスへどの程度助成しているのか。2 点目は旧雨煙別小学校を壊すという話から毎年その位の税金で使っているが、町として効果はあるのか。3 点目は町外から人が来ているのはわかっているが、どんな効果があるのか。同じ金額を子どもたちに出せるなら格差のある家庭へ助成した方が良いのでは。近隣ではこのような施設はあるのか。4 点目は地元の子が利用するのはそこに施設があるから利用しているのであって、なければ学校を利用するのではないか。

教育長：1 点目については、さまざまな事業費も含めて年間 3, 5 0 0 万円～4, 0 0 0 万円程度の助成をしている。2 点目については、町としては自然環境教育の拠点として活用し、子どもたちのふるさと教育プログラムを進めている。3 点目の効果については、地元の子供たちも利用しているが、地元の宿泊に関しては年間 6 0 日程度なので目につきづらいかもしれない。栗山の子どもたちのことを第一に考えるのはそのとおりだと思う。

町長：4 点目については、雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスは学校教育の一環として、まち全体のバランスをみて金額を考えているし、栗山の子どもたちのために運営している施設である。教育以外の面でも医療費への無料化など子どもがいる家庭への負担は少なくしている。

意見：自分も高齢者だが、これからは高齢者より子どもたちの方に一生懸命支援欲しい。

町長：子どもたちのためにというのはきちんとやっていきたいと思うが、全体的なバランスを見て進めていきたい。

意見：新規就農者に助成していると思うが、助成後に辞めた人はどうなっているのか。既存農家への補助はないと思うが、これから農家はやっていけないのではないか。自分たちの孫も農家に関心があるのかどうか。何をやってもダメな人に支援する必要があるのか。営農計画を

見ても無理があるように見えるが、支援する側にも責任があるのでは。

町長：助成後に辞めた人の補助金は返還してもらっている。新規就農で入っている人たちを見ると、近年の農業に魅力を感じている人は多くいると思う。

産業振興課：経営開始後に辞めた人はいないが、研修中に辞めた人はいる。辞めた場合は、町長が説明したとおり返還している。新規就農に限らず既存農家と同じ。経営体育成事業などがあるのでない訳ではないが、採択条件もいろいろとあるので、役場やＪＡが相談に乗り活用を支援している。

意見：新町通りを開発するのか。

町長：道道の拡幅に合わせて、町道の整備や、農協の倉庫を活用した施設整備を進める予定。市街地が南側に伸びているが、駅前で買い物をする人も少なくなったと思う。

質疑：日赤は今、どれ位の人が利用しているのか。他の病院から固定で先生が来ているのか。

町長：入院ベッドは８割程度稼働している状態。総合病院は町に必要な施設だと思っている。

福祉課：６人が常駐（内科５人、外科１人）している。他の診療科は他の病院から来てもらっている。

提言：農業に対する外国人研修生の受け入れについて、町で力をいれてもらえないか。

町長：研修生制度の緩和が進められ、農業従事者数は年々減っている。町の方もよく勉強させてもらってどんな労働力の確保ができるか検討していきたい。

質疑：栗山町スキー場のリフトは更新するとどれ位費用がかかるのか。

教育長：２億円～２億５千万円。ロッジも傷んでいるのでスキー場を運営するには多額の費用が必要である。

町長：他の懇談会会場でも必ず必要な施設ではないだろうか？という意見が多い。子どものための施設でもあり、スキー振興に取り組んでこられた方もいるので議論を進めていきたい。

意見：台風の被害（倒木）がある。町にも連絡しているが、対応は怎么样了のか。流れの悪い河川があるので、二次災害が起きないように対応してもらえないか。

建設課：現場を確認して、緊急性の高いところから検討したい。